

2006年の景気動向に対する企業の意識調査

2006年1月13日

お問い合わせ先：株式会社帝国データバンク 産業調査部

電話：03-5775-3163 e-mail：keiki@mail.tdb.co.jp

http://www.tdb.co.jp/

景気動向調査専用HP http://www.tdb-di.com/

景気回復基調、「持続する」は4割にとどまる

～ 業界・地域・規模間の格差大きく、基調の脆弱性が浮き彫りに ～

2005年の日本経済は、デジタル景気の調整や外需の伸び悩みなどが見られたが、雇用情勢の改善による個人消費の回復や堅調な設備投資によって、景気DI（TDB景気動向調査参照）にも示されているように回復基調が持続した。

そこで帝国データバンクでは、2002年5月から毎月行っているTDB景気動向調査（インターネットリサーチ）において、2006年の景気動向に対する企業の意識調査を実施した。調査期間は2005年12月21日～2006年1月5日。調査対象は全国2万1,518社で、有効回答企業数は9,674社（回答率45.0%）

2006年、景気回復基調の「持続」を見込む企業は39.9%と約4割にとどまる 業界・地域・規模間の格差大きく、基調の脆弱性が浮き彫りに

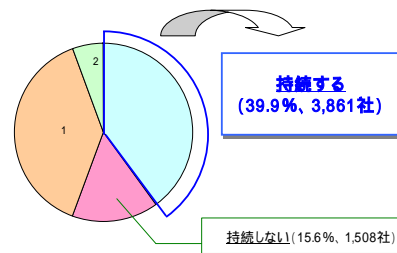
2005年までの景気回復基調が2006年も持続するか否かについて尋ねたところ、「持続する」と回答した企業の割合は全体の39.9%（3,861社）であった。

企業からは、「金融機関が体力を取り戻し、中小企業に対しても積極的に融資案件を持ち込むようになった」（各種商品小売、北海道）、「個人消費が堅調」（ガソリンスタンド経営、大分県）といった声が聞かれた。

一方、「持続しない」と回答した企業は同15.6%（1,508社）あり、企業からは、「景気が回復したのは一部の大企業だけ」（建築資材卸、新潟県）、「地域によっては全く回復の兆しがないところもある」（玩具小売、広島県）といった声が聞かれた。

また、「分からない」と回答した企業も同39.0%（3,773社）あった。「デフレを脱しておらず、この状況はしばらく続く」（繊維

2006年、景気回復基調は持続するか否か



注1：1は「分からない」(39.0%、3,773社)、2は「不回答」(5.5%、532社)
注2：母数は有効回答企業9,674社

製品卸、東京都）といった声のほか、「政府の税に対する動向次第」（工作機械製造、愛知県）といった政策に対する懸念も聞かれた。

さらに、業界（回復基調が「持続する」と回答した割合の最大と最小の差：30.0ポイント）や地域（同18.8ポイント）、規模（同3.9ポイント）によって見通しに格差（2ページ右表参照）があったほか、増税や公共工事削減などが回復基調に悪影響を与えるとの声が多数あったことから、内需・民需主導による自律回復の兆しが見え始めてきてはいるものの、その基調はいまだ脆弱で、今後の外部環境如何でその動向が左右される弱含みの状況にあることを浮き彫りにしている。

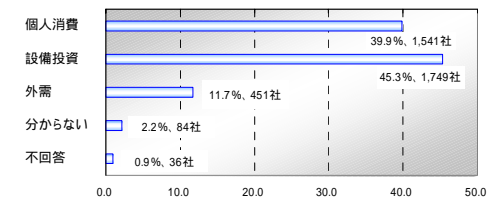
2006年の景気、牽引・下押しのカギは「個人消費」

景気回復基調が「持続する」と回答した企業のうち、最大の牽引役として「設備投資」を挙げた企業の割合は同45.3%（1,749社）、「個人消費」も同39.9%（1,541社）と多数を占めた。

一方、「持続しない」と回答した企業のうち、最大の下押し要因として「個人消費」を挙げた企業の割合は同62.0%（935社）と他を大きく引き離れた。

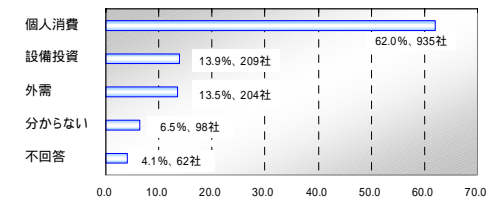
これらのことから、企業は今後の景気回復のカギとして「設備投資」のほか、「個人消費」の動向に大きく注目していることが明らかとなった。

景気回復基調が「持続する」最大の牽引役



注：母数は景気回復基調が「持続する」と回答した企業3,861社

景気回復基調が「持続しない」最大の下押し要因



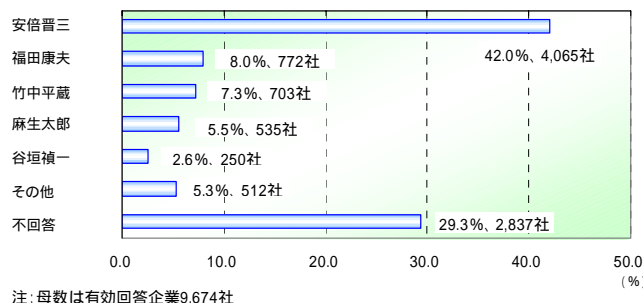
注：母数は景気回復基調が「持続しない」と回答した企業1,508社

景気回復基調の持続に最も期待できる「ポスト小泉」、安倍晋三氏が42.0%

小泉首相は党総裁の任期満了による退陣（2006年9月）を表明している。これに関して、今後の景気回復基調の持続に最も期待できる「ポスト小泉」を尋ねたところ、安倍晋三氏と回答した企業の割合が全体の42.0%（4,065社）となった。

企業からは、「小泉首相の改革路線を継承できる」（印刷、愛媛県）「若さと決断力に期待したい」（種苗卸、北海道）「外交姿勢を支持する」（電気工事、神奈川県）といった声のほか、「小泉首相が立ち上げた改革路線を安倍・竹中コンビで継続徹底してもらいたい」（半導体販売、東京都）といった竹中氏との連携を求める声も聞かれた。

景気回復基調の持続に最も期待できるポスト小泉



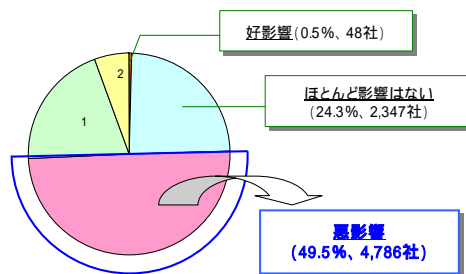
安倍氏以外は1割に満たない状況であることから、安倍氏の改革路線の継承による景気回復基調の持続を期待する声が顕著に示される結果となった。

税制改正、2006年の景気に「悪影響」との回答が49.5%

2006年度税制改正大綱が景気回復基調に与える影響について、「悪影響」と回答した企業の割合は全体の49.5%（4,786社）と約半数を占めた。

企業からは、「個人消費を核とした民需が後退する可能性が大きい」（建築資材卸、滋賀県）「景気回復の腰折れ要因となる」（土木工事、兵庫県）といった声が聞かれた。そのほか、「二極化がますます進むだけ」（自動車部品卸、北海道）「景気回復は末端まで浸透していない。増税は景気回復をストップさせる」（宝飾品卸、山梨県）といったよう

税制改正が2006年の景気回復基調に与える影響



注1：1は「分からない」(20.3%、1,964社)、2は「不回答」(5.5%、529社)
注2：母数は有効回答企業9,674社

に、景気回復の実感が少ない地域・業界からの厳しい意見もあった。

また、「ほとんど影響はない」（同24.3%、2,347社）とした企業からも「消費税などの動き次第ではいろいろな影響が出てくる」（建築工事、北海道）といった懸念が聞かれた。

これらの結果は、依然として景気回復基調がまだら模様で脆弱ななか、個人消費の下押し要因となる一律の負担増は回復基調に少なからぬ影響を与えるとの見方が根強いことをうかがわせている。

【2006年、景気回復基調は持続するか否か】

		持続する	持続しない	分からない	不回答	合計
		構成比%（）内は社数				
業界別	農・林・水産	23.3 (7)	13.3 (4)	43.3 (13)	20.0 (6)	100.0 (30)
	金融	46.4 (52)	6.3 (7)	29.5 (33)	17.9 (20)	100.0 (112)
	建設	35.9 (430)	17.3 (207)	41.5 (497)	5.3 (63)	100.0 (1,197)
	不動産	53.3 (105)	12.7 (25)	29.4 (58)	4.6 (9)	100.0 (197)
	製造	39.7 (1,117)	14.8 (418)	40.5 (1,140)	5.0 (140)	100.0 (2,815)
	卸売	39.6 (1,282)	16.2 (524)	39.1 (1,264)	5.1 (165)	100.0 (3,235)
	小売	35.6 (157)	16.3 (72)	42.6 (188)	5.4 (24)	100.0 (441)
	運輸・倉庫	38.3 (131)	17.0 (58)	39.2 (134)	5.6 (19)	100.0 (342)
	サービス	44.6 (573)	14.8 (190)	34.2 (439)	6.5 (83)	100.0 (1,285)
	その他	35.0 (7)	15.0 (3)	35.0 (7)	15.0 (3)	100.0 (20)
地域別	北海道	26.0 (132)	21.9 (111)	45.7 (232)	6.5 (33)	100.0 (508)
	東北	29.4 (181)	19.0 (117)	44.7 (275)	6.8 (42)	100.0 (615)
	北関東	33.7 (200)	18.7 (111)	42.8 (254)	4.7 (28)	100.0 (593)
	南関東	44.8 (1,488)	13.7 (456)	35.8 (1,189)	5.7 (190)	100.0 (3,323)
	北陸	40.2 (181)	14.2 (64)	39.3 (177)	6.2 (28)	100.0 (450)
	東海	43.8 (406)	15.4 (143)	36.3 (336)	4.4 (41)	100.0 (926)
	近畿	42.5 (649)	14.4 (219)	38.5 (588)	4.6 (70)	100.0 (1,526)
	中国	39.3 (260)	16.6 (110)	39.6 (262)	4.4 (29)	100.0 (661)
	四国	34.0 (105)	18.8 (58)	43.0 (133)	4.2 (13)	100.0 (309)
九州	33.9 (259)	15.6 (119)	42.9 (327)	7.6 (58)	100.0 (763)	
規模別	大企業	42.8 (1,050)	13.5 (330)	36.3 (891)	7.4 (182)	100.0 (2,453)
	中小企業	38.9 (2,811)	16.3 (1,178)	39.9 (2,882)	4.8 (350)	100.0 (7,221)
全体		39.9 (3,861)	15.6 (1,508)	39.0 (3,773)	5.5 (532)	100.0 (9,674)

注：網掛けは全体平均以上を表す